　種子島宇宙センターは、１９６９年旧宇宙開発事業団の発足とともに設立されました。総面積は約９７０万平方メートルにもおよぶ日本最大のロケット発射場です。鹿児島県の種子島にあるこの施設は、島の南東海岸線に面する、世界一美しいロケット発射場とされています。

　このセンターでは、ロケットの組み立てや打ち上げはもちろんのこと、搭載する衛星の最終チェックやロケットへの搭載などを行っています。我が国のロケットや人工衛星の打ち上げを担っている重要施設であり、Ｈ－ⅡＡなどの大型ロケットを打ち上げ可能な発射場や、ロケットで打ち上げられる人工衛星や探査機の組み立てや試験を行う衛星組立棟などがあり、その他にも増田宇宙通信所や宇宙ヶ丘レーダステーション、光学観測所などの追跡設備が整備されています。

　これらの施設設備を使用し、人工衛星打ち上げまでの一連の作業や打ち上げ秒読み作業、発射後の追尾作業等に取り組み、実用衛星打ち上げの中心的役割を果たしています。人工衛星の需要増加が今後も見込まれるなかで、このセンターの役割がますます大きくなっています。